



平成30年6月29日

発行 長野市立篠ノ井東中学校

人にやさしく、自分によさ
篠ノ井東中学校 創立55周年記念号、平成30年度第3号 州林文雄

〒 380-8003 長野市篠ノ井小森 840 TEL 0262-292-0135 FAX 0262-292-0137
http://www.ngano-ngn.ed.jp/shinoh,jh/ E-mail shinonoihigashi@jh-naganongn-ed.jp

3年生にとって最後の夏の大会 ～燃えろ東中魂～

3年生にとって部活動の締めくくりとなる最後の夏の大会「長水・北信体育大会」が開催されました。約2年間、先輩や仲間と共に培ってきた力を精一杯出し切りながら、最後の瞬間まで全力で戦い抜いた生徒たち。願いが叶わなかった悔しさを感じながらも潔く結果を受け止め、これから始まる新しい一歩を踏み出しています。県大会に進んだ部活、これから始まる吹奏楽や合唱団のコンクール地区大会でも「燃えろ東中魂」を引き継いでくれることでしょう。



- 【祝:県大会出場】
- 女子ソフトボール部
 - 水泳
 - 3年 北沢碧一君
 - 陸上 砲丸投げ
 - 3年 宮尾正寿君
 - 3年 宮入将義君
 (通信陸上)

松山三四六先生による講演会

20日、松山三四六先生を講師にお招きし、講演会が行われました。「あなたの『つぼ』の中にざっくりと大きな夢から入れていこう」、「優勝する人とは、敗者の憂いに寄り添い、負けた人の気持ちを考えることができる人である」など、子どもたちに今の自分を見つめ直す多くの心に残る言葉をいただきました。「夢は叶わない可能性の方が高い」だからこそ、「ここまでよくやった」と悔いのない努力できる人になりたい、自分の意識を変えていきたいという感想も多くありました。



放課後学習教室「学びの広場」開始



【学習支援の先生と共に】

今月からスタートした放課後学習教室「学びの広場」。ここでは、参加希望した50名近いを越える生徒たちが基礎的な学習習慣を身につけることを目指しています。今週末のテストに向けて学習支援ボランティアの先生に積極的に分からないところを聞きながら取り組んでいます。



【篠ノ井あいさつ運動】

6月 校長講話

6月も終盤になりました。今月に入りこれまで、北信陸上大会、長野上水内夏季大会、そして、先週は北信野球大会がありました。目標が達成できた皆さん、思うようには結果が出なかった皆さん、様々だと思います。しかし、皆さんがこれまで真剣に取り組んできたことは紛れもない事実です。結果はどうであれ、その中で学んだことも多かったと思います。ぜひ、学んだ様々なことを今後の学校生活に繋げてほしいと思います。

今月は、前期人権同和教育強調月間です。各クラスでは、友だちのこと、日常使っている言葉のことなど様々なことを学習していますね。一度学習して終わりではなく、ぜひ、学習したことを日常生活に生かしてほしいと思います。

今日の私の話も、人権にかかわる話をいたします。

皆さん、この言葉：『リスペクト アザーズ』という言葉を知っていますか。数年前、鎌倉市の中学生3年生が書いた作文が、全国中学生人権作文コンテストで法務大臣賞を受賞し、話題になりました。その作文の題名が、『リスペクト アザーズ』です。日本語に直すと、「他の人を尊重する」という意味になります。作者は、坪井洸君という男子生徒です。

坪井君は、日本人の両親を持ちながら、アメリカ合衆国のサンディエゴで生まれ、十歳半(小五の途中)までサンディエゴで生活し、地元の保育園や幼稚園、小学校に通いました。その後、ご両親の仕事の関係で日本に戻ってきました。日本に戻った坪井君は、アメリカとの違いに驚き悩んだりもしたようです。そして、自分が考えたことを作文にまとめました。では、坪井君の作品を紹介します。

【作文紹介1】

どうでしたか。アメリカ合衆国では、たくさんの人種の人たちが一緒に生活しています。当然、クラスにも肌の色などが違う人たちもたくさんいますが、皆一緒に勉強をしています。ですので、人種差別をしないようにということで、小さいころから、相手の気持ちを大切にすることを教えられてきたんです。しかし、幼稚園、小学校で集団生活をしていると、誰かが意地悪をしたとか、誰かがいじめられたとか、いわゆる人間関係のトラブルが起こってきます。そんなとき、アメリカの先生たちは必ず『リスペクト アザーズ』と言い、当事者に反省を促していたんです。

坪井君は、『リスペクト』の意味もはっきりわからない保育園や幼稚園の頃から、ことあるごとに繰り返し教えられるうちに、自分がまわりの人と違っていることも当然だと思うようになっていったようです。

しかし、坪井君が日本に来てみると、アメリカとの違いに、カルチャーショックを受けたようです。一番驚いたことは、みんなが他の人となるべく同じようになるために非常に気を遣っているように見えたことだと書いています。また、自分がうまくできたことを教えてやろうとすると「それは自慢だ」と言われたり、傷つく言葉を言われたときに、「それは冗談だよ」とうやむやにされてしまったりとも書いています。坪井君が日常生活の中で大事にしてきた『リスペクト アザーズ』の世界は、日本にはなかったんですね。

皆さんは、どうですか。心当たりのことはありませんか。一生懸命にやってもうまくいかないときに、嫌なことを言われたり、良いと思って教えてあげたのに嫌味を言われたりしたことないですか。また、逆に友達に嫌なことを言ってしまった経験はないですか。

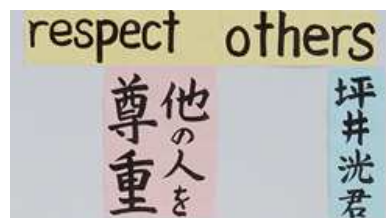
正直言って私は、いくつか経験があり、今改めて当時を振り返り反省をしています。

そうした行為をしてしまう要因には、『リスペクト アザーズ』の考えの薄さも影響しているのかなと思います。先程紹介した作文の中で、坪井君は私たちに大事なことを訴えていましたね。そこをもう一度読みますので、自分の生活を振り返りながら聞いてください。

【作文紹介2】

相手の個性を尊重することは、自分の個性を尊重されることにもつながります。また、逆に、他者を尊重できない人は、自分自身の個性やよさも大切にできないと思います。

皆さんの学級や学年、部活動をよりよくしていくためにも、坪井君が訴えた『リスペクト アザーズ』の考えを皆さん一人一人の中に刻んで学校生活を送ってほしいと思います。



保護者へ皆様へ

地域貢献の日

明日6月30日(土)は、地域貢献の日【資源物回収・クリーン作戦の日】です。生徒の自主的活動を目指しての活動ですが、校外指導部の皆様をはじめとして、PTAの皆様方にもご協力をいただいての実施となります。お忙しい折ではございますが、ご協力よろしくお願いいたします。

1・2年生保護者希望懇談実施

7月23日(月)、26日(木)の午後、1、2年生の保護者希望懇談の時間を設けます。詳細は、後日配布のプリントをご覧ください。